

平成30年度和歌山県文化功労賞

むかい やま せい じ
向山 精二

住 所 和歌山県海南市
出 身 地 和歌山県海南市
生 年 昭和21年

◎ 業績及び経歴

昭和21年海南市に生まれる。

串本沖でのトルコ軍艦エルトゥールル号遭難事件（明治23年）の壮絶な救出劇や、イラン・イラク戦争中のテヘラン邦人救出事件（昭和60年）に感銘を受け、平成21年にこれらを題材とした「紀伊の国交響組曲」の第5楽章「友情」を作曲し、“2010年トルコにおける日本年”にあたる平成22年7月に東京及び大阪において、9月には串本町並びにトルコ共和国のメルシン、イスタンブール及びアンカラにおいて、オーケストラや合唱団を指揮し演奏会を行った。

平成29年には、イタリアのローマでも「争うよりも助け合いを」を演奏テーマとし、トルコ共和国大統領交響楽団とともに演奏会を開催し、トルコ共和国観光文化大臣から感謝状が贈られた。

さらに、去年（平成30年）11月29日には、米ニューヨークのカーネギーホールで、トルコ人による交響楽団ニュー・マンハッタンシンフォニーとともに日本とトルコの友好関係をテーマに、世界平和を訴える演奏会を開催し、救出劇の映像なども披露、さらに演奏後にはテヘラン邦人救出劇の現場にいた客室乗務員や救出された邦人が登壇し、日本とトルコ共和国の命をかけた救出劇を世界に発信した。

氏は、1世紀を超えて続く日本とトルコとの固い絆、そして平和をこれからも訴えていきたいと意欲を見せている。

「世界中で争いが絶えない中、両国が命を懸けて助け合った強い絆を発信してくことで、世界を平和に」と行動する情熱あふれる氏の姿勢は、国内外で賛美されている。

このような、音楽と映像を通じて両国間における友好の歴史を印象づけ、両国民が培ってきた長年の友好関係の一層の深化に大きく寄与した氏の功績は多大である。

■ 現 在

- ・特定非営利活動法人「エルトゥールルが世界を救う」特別顧問

◆ 主な表彰歴等

平成23年 和歌山県知事表彰